①

②

③

特集

世界遺産登録に向けたまちづくり

問い合わせ先 市シティプロモーション推進課☎30-61 43番、FAX23-1916番、市教育委員会彦根城世界遺産登録推進課☎26-5834番、FAX27-3554番

④

⑤

市は、2024年までの彦根城の世界遺産登録を目指しています。

そもそも、世界遺産って？

世界遺産は、人類全体にとって大切な価値のある財産として、将来にわたり守っていく遺跡や建造物、自然などです。

現在、世界遺産は1、092件（平成30年7月現在）あり、そのうち日本には22件あります。

世界遺産への登録は、世界史的な価値を認められるということです。彦根城の登録は、市の魅力を世界に向けてアピールするとともに、多くの市民が誇りに思うまちづくりにつながります。

彦根城の世界遺産としての価値は？

ひとことで言うと「彦根城を見れば江戸時代が分かる」。江戸時代は武士が統治し、200年以上にわたって戦いのない時代でした。城は戦のための要塞（ようさい）ではなく、武士の統治の拠点になりました。

彦根城には、天守だけでなく、政治や儀式をする場所だった御殿、家臣の屋敷、武士が教養を高めるための場所だった大名庭園、武士の教育のための藩校などの建物や遺跡がまとまって残っています。

彦根城は、江戸時代に200以上あった城の中で、こうした武士の統治の特徴を表すものが総合的に最もよく保存されています。

登録までのスケジュール

①日本の「世界遺産暫定リスト」に記載【1992年】

←

②推薦書原案の作成【現在作業中】

←

③国内で推薦候補に選ばれる【目標：2022年】

国がユネスコに推薦書を提出

←

④イコモス（諮問（しもん）機関）による審査

←

⑤世界遺産委員会で審議

登録決定【目標：2024年】

世界遺産登録のためには、ユネスコに提出する推薦書を作る必要があります。

推薦書には、彦根城の世界遺産としての価値とともに、どのように保存管理していくのかを詳しく書かなければなりません。現在、県と協力してこの推薦書原案の作成を進めています。

写真…①彦根城天守 ②表御殿 ③武家屋敷（旧西郷屋敷長屋門） ④能舞台 ⑤大名庭園（玄宮楽々園）